



草刈りで環境美化！

先週の金曜日、旭川へ草刈りに行きました。実家には両親が育てた藤棚がありますが、今年はどういうわけかそのツルが伸びて伸びて庭から玄関を覆うほどに成長し、まるでジャングルのようでした。

ノコと大小の剪定ばさみと電動草刈り機で藤のツルとの格闘！ツルはしなやかで細くてもとても強いです。藤の家具になるくらいですから…午前中の4時間、妻も黙々と草取り…着替えて、すまし顔でコンビニへ寄って、まっすぐ麓郷に帰ってきました。日曜日は麓郷の我が家の草刈り、次はお墓の草刈り、7月に入ると麓郷住民による麓郷街道の草刈り…… “草刈りやことぶき大で〇〇〇〇〇”

今日は山部でスポーツ交流会！！

さて、今日は山部校の皆さんと一緒に「スポーツ交流会」が開催されます。富良野スポーツセンターが耐震等の工事のために来年の3月一杯まで使用できませんので、山部校事務局の南さんからの提案で、山部の生涯学習センターで開催することになりました。

本日のスポーツ交流会のメインイベントはモルックです。昨年、一度体験した人もいると思いますが、あらためて簡単に説明します。

1. モルックという木の棒を投げて、スキttlと呼ばれるピンを倒します。
2. スキttlは1から12までの番号が付いており、倒れたスキttlの番号または本数が得点になります。
3. プレイヤーは交互にモルックを投げ、得点の合計がピッタリ30点になったプレイヤーの勝ちです。（30点はことぶき大学ルールです。実際は50点）
4. 30点を超えると得点は15点に減点され、ゲームは続行されます。

このモルックはフィンランド発祥の野外ゲームで、シンプルながらとても奥の深い楽しいスポーツです。玉入れとフォークダンスもあります。

大いにスポーツを楽しみましょう！

本日、6月26日(水)

令和6年度「ことぶき大学合同スポーツ交流会 in 山部」

会場：生涯学習センター（山部）

日程：9時00分 複合庁舎発

富良野校 21名、事務局 2名乗車

伊賀さん、坂本さん、磯江さん、岡本さん、伊藤さんの5名は直接山部集合！！

9時30分 到着 受付（チームのくじ引きをします）

10時00分 開会式 校歌斉唱 ラジオ体操

10時15分 競技開始「モルック」リーグ戦

11時15分 リーグ戦終了 休憩

11時30分 「モルック」トーナメント戦開始

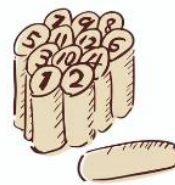
11時50分 午前の部終了 昼食・休憩

～ 特別展「シマエナガ」見学、博物館見学

13時15分 午後の部 玉入れ、フォークダンス

14時20分 閉会式

14時30分 終了 バス乗車



次回、7月3日(水)は、三市町パークゴルフ交流大会！！

27ホールストロークスレイ 飛び賞もあるそうです

参加者 競技参加者：富良野校 14名、山部校 7名 計 21名

応援の方： 〃 2名、 〃 8名 計 10名 31名

出発時刻 8時15分 複合庁舎南口発（山部校 7時45分発）

9時00分 開会式

9時30分 競技開始

11時00分 競技終了

12時00分 表彰閉会

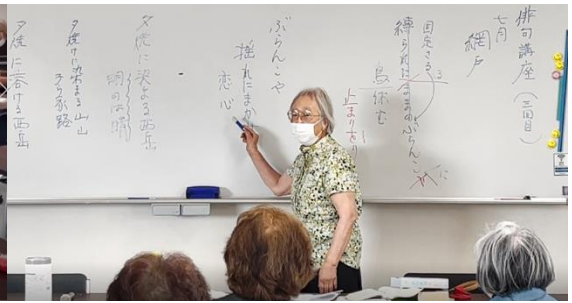
上富良野町いしずえ大学の皆さんのお出迎えがあります。

事務局が合図しますのでお待ちください。

会場：上富良野パークゴルフ場

（上富良野町基線北 27号 TEL 0167-45-1189）

賞：男女各優勝～5位、ホールインワン賞、ブービー賞など



俳句講座

●

健康講座



◎ 俳句を楽しむことって？

ことぶき大学で俳句講座が始まったのは令和元年（2019年）5月22日（水）旧文化会館の中会議室でした。「あなたは歌人・柳人・俳人？」がテーマでした。古典文学に触れるということで俳句を取り上げました。その後、年に1回か2回ほど、コロナ禍の中でもありましたが、今年で5年目になります。

私自身、音数を並べることはあっても、真剣に俳句に取り組んだ経験はありません。

でも、最近ちょっと俳句の魅力を感じるようになった気がしています。それは何故なのだろう…兼題が「ぶらんこ」…そこで「青い空ぶらんこ揺れて遊ぶ雲」「はじめてきブランコデート君に揺れ」など詠んでみた。何となく心が軽くなった。懐かしく思った…妻も詠んだ「ではまたね小風ゆれゆれブランコと」…何となくさわやかでいい…俳句を楽しむということではこれでいいかも知れない…

随筆、小説でもなく、詩でもなく、17文字（音数）が完成されたすべてのものということになる。きっと底知れぬ深いものだろうとは思いますが。

ここに俳句歳時記の五巻がありますが、この厚さにその奥深さを感じます。

一度だけの私の人生に、俳句に没頭する時があってもいい、俳句で心表現してもいい、17音数で自分の気持ちを伝えてみたいと思いませんか。今まで使ったことのない美しい言葉や季語、そして誰にでもわかる言葉を繋げて…古典文学としての俳句を学び、表現の幅を広げましょう！！

橘 千祥先生、よろしくお願いします。

◎ 健康とは人との出会いにある！

午後は富良野市社会福祉協議会の榊竹さんを講師に健康講座を開催しました。榊竹さんが汗をかきながら、コンテナボックスをもってやってきました。その時、「榊竹さんはサンタクロースだ」と思いました。

「日本は家族社会が基本だった。他人からの援助は受けない社会だった。」高齢社会となり人口が激減、核家族化、「90.60問題」90歳の親が60歳の子を支え、「80.50問題」80代の親が50代の子どもと同居…経済的に親の年金が主な収入源である。家族社会が崩壊し、地域との繋がりが希薄しつつ…高齢者の孤立化・孤独化が益々進んでいく…

これからの社会に明るい未来はあるのか。こどもの未来を大人たちは責任をもって作り上げてきたのか…政治や経済や教育の未来は…

ダメ押しは、2018.11.17の卓上四季から一部引用…“コミュニケーションコンサルタント岡本純子さんの著書「世界一孤独な日本のオジサン」の中で孤独は深刻な「現代病」であると。「友人や同僚もしくは他の人々と時間を過ごすことのない人」の割合が多いのが世界21ヶ国中、日本の男性が1位、女性は2位という。まさに「孤独大国ニッポン」これは6年前の新聞なのだから益々それが進んでいると言える。

パンドラの匣、最後に残ったものは「希望」、その希望さえあるのだろうか……榊竹さんが用意してくれた資料の卓上四季で、“英国では2018年に世界で初めて「孤独担当大臣」を任命したとの記事が載っていました。例えば「メンズ・シェッド」と呼ばれる場所があり、そこには孤独な人々が集まり木工などの総作活動を通じてコミュニケーションを図り、孤独に陥るのを防いでいるという報告”もありました…あれから6年が経過しています…孤立化を防ぐというよりは社会との繋がりを強化し、生活の内容的な質を高めることが必要だということです。

榊竹さんは「ことぶき大学」の存在を高く評価してくれました。とてもうれしいです。

今、動画配信などSNSを大いに利用してことぶき大学の学習の様子を配信していきたいと思っています。フロアカーリング・卓球・映画・スコップ三味線同好会に各クラブ学習、俳句講座に健康講座など、そのどれかに興味を持ち、生きがいを持って社会と繋がっていくことが大事なのではないでしょうか。

寄稿文

久しぶりに伊藤さんから寄稿文が届きました。ありがとうございました。

深夜番組、「絶望名言集」を聴いて

富良野校第2 研究生 伊藤 公雅

私はよく深夜番組を耳にする事が多い。最近布団の中で聴いたこの番組で壺井 栄の小説、「24の瞳」を解説する中で、作者が小説を執筆中、童謡ふるさとを取りあげ、戦時中に書かれたこの作品に触れ、うさぎ追いし、かの山～小鮎釣りしかの川、当時食糧難や物資が不足する世情から、北方に駐留する軍隊にうさぎの毛皮を送った様子が書かれていたと。

戦中、戦後一部の人を除き生活は楽ではなかった。食べるのがやっとの生活、それも儘ならない家も少なくなかった。実際に地方の民家の軒下に、食用として吊るされているのが写真にあったそうです。

小説の中で大石先生の子供が、満足な食事が摂れずに亡くなる様子も入っている。

私は高校時代、昼間働き夜の定時制高校へ通った。中卒の僅かな給金だが親に渡しその中から学費やお小遣い等を貰った。

学友の中に家庭の事情で学費が払えず止む無く去った人、自営業の父親が急逝し稼業を継ぐ為去った人、友達の中には母子家庭の人も多く、また両親が無く親戚に世話に成っている人など、両親が居て毎日の食事が普通に摂れる私は幸せの部類でした。

こう言った学校生活の中で自分は恵まれている事を知り、ただ漫然に暮らしている自分が恥ずかしく思えた。それまでいい加減に過ごしてきた自分を見直す時期でもあった。(高校2年の頃)

表題の書籍を求めるため書店に伺ったが、在庫がなく取り寄せと成った。今、手元に置き時間を割いて興味深い部分を判読(文章を理解するのに時間の掛かる自分が居る為)している。



この本ではないかもしれませんが。



ティー・タイムコーナー



いよいよ妻はフジコ・ヘミングの妖精人形にとりかかっています。

フジコ・ヘミングのヘアスタイル、目の色、ちょっと太い指、そして彼女にどんな服を着せるのか楽しみでした。

さて、右の服は妻のお気に入りの白のレースの服を壊して着せています。

フジコさんはこの服を気に入ってくれるでしょうか？

今回は、スタートから動画で記録していく予定でしたが、2、3日したらもうここまでできてしまいました。

ただ、これからが長いのです。

ここで、ティー・タイムに一句！

「網戸越しひそひそ声に返事する」



次回の俳句講座の兼題は「網戸」です… 網戸の季語は夏。皆さんからの一句を随時LINEでも、TELでも、メールでもハガキでも封書でも受け付けています
集まり次第、橘先生に届けたいと思っています。

皆さん！！言葉を鍛えましょう！！

お薦めの一品

つけ麺

キムチ、長ネギ、ゴマ、のり…夏の暑さにも負けず、免疫力もアップ、手軽でおいしいつけ麺はどうですか。

材料（二人分）

☆これに鳥の唐揚げがあったらいいな！

焼きのり（ちぎる）…全形1枚

白菜キムチ（粗みじん切り）…大さじ4

A 長ネギ（せん切りにし、水にさらす）…5センチ

白いりごま…小さじ1

B めんつゆ（ストレート）…3/4カップ

水…1/4カップ

そうめん（ゆでて冷水で洗い、水けをきる）…4束(200g)

ボウルにBを入れ、のり、キムチの順に加えて混ぜ

器に盛ってAを乗せる。そうめんをつけて食べる。

